

駅係員、乗務員の夏季ネクタイ・上着を省略しない会社は時代に逆行している！

## 開襟シャツタイプの制服にせよ！

### 節電対策と熱中症対策（申第4号）に関して業務委員会開催

本部は7月19日、業務委員会を開催し、申第4号「夏季期間における節電対策と熱中症対策に関する申し入れ」について会社の回答を受け、議論を行いました。

会社は駅係員・乗務員のネクタイ着用の省略に関して「制服のデザインは企業イメージやサービスに対する会社の姿勢として現行のデザインを維持することが必要・・・ネクタイの着用の省略は考えていない」と回答しました。企業イメージも大切でしょうがしかし、エコスタイルが定着し、熱中症対策が重要視される昨今、社員の健康管理を考え、制服全体のデザインを変更するべきです。「傍目から見ても涼しげ・さわやか」に見えることもコンセプトに入れて制服をデザインし、それを企業イメージとして定着させていけば良いのです。

太陽熱や車両からの排出熱の影響で非常に気温の高い環境で労働する車両検修職場の社員には熱中症対策の一つとして、「塩熱サプリメント」が配布されています。ところが車両所の管理者は、このサプリメントを「休憩時間中に摂取せよ」と指導しています。作業中に口にモノを入れること集中力を欠くことが理由の一つのようです。会社も述べているように、このサプリメントをいつ摂取すれば有効的なのかはハッキリしていません。だからこそ、摂取する時機は個々人の判断に任せるべきです。まして今は、飴というよりタブレット状ですから、長時間口の中にあるわけではありません。作業中の水分補給と同じと考えれば良いのです。

社員の皆さん、節電・熱中症対策は安全と健康を最優先すべきです。JR東海労はこれからも行き過ぎた対策をチェックし、働きやすい職場づくりのため奮闘します。

塩熱サプリメントを口にする時機  
まで、会社は口出しするな！